



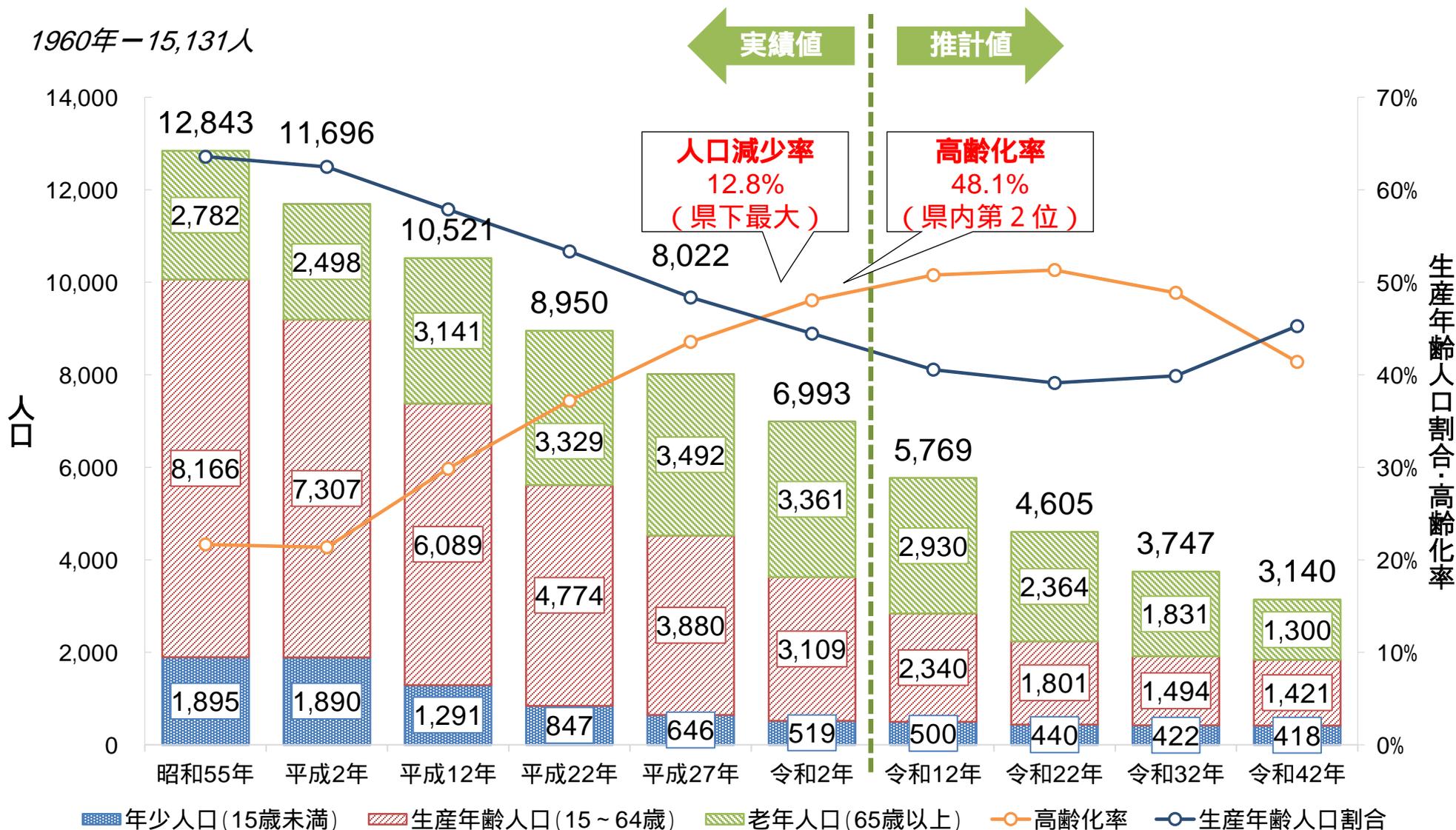
令和4年度

町政報告会

人口の推移

過疎地域指定：平成12年4月1日

1960年 - 15,131人



(資料：総務省「国勢調査」、鋸南町「鋸南町人口ビジョン」)

財政の現状 について

令和3年度一般会計決算 歳入

総額52億3,636万円

繰越金

3億5,229万円

7%

町債

4億1,922万円

8%

町の借入金

国からの地方譲与税などの
交付金や使用料、財産
収入など

その他

5億4,285万円

10%

町税

7億2,482万円

14%

国県支出金

9億104万円

17%

地方交付税

22億9,614万円

44%

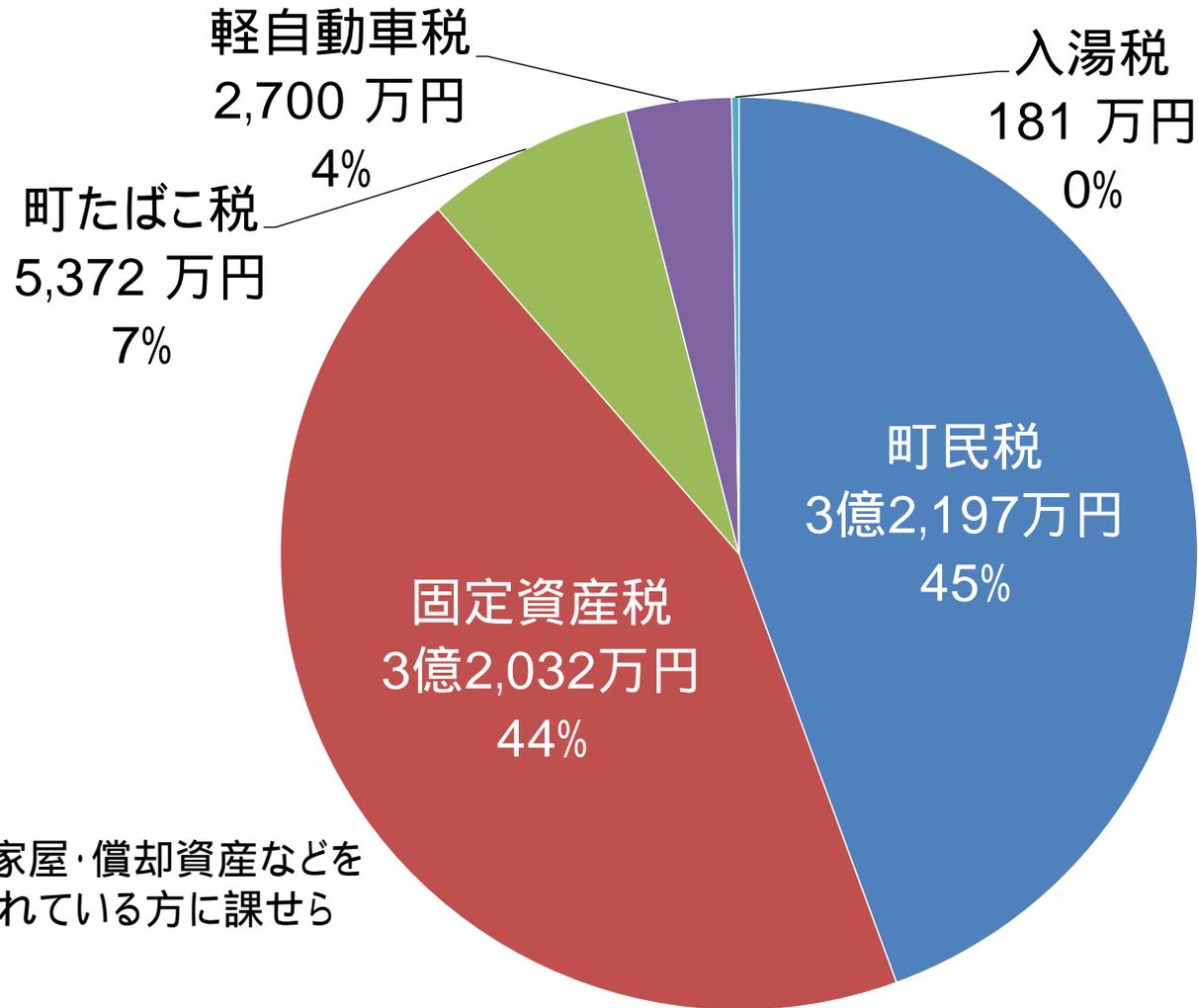
特定の事業に対して国や県
から支出される補助金など



地方が標準的な行政サービス
を行うため、財源の不足分を
国が配分する交付金

令和3年度町税の内訳

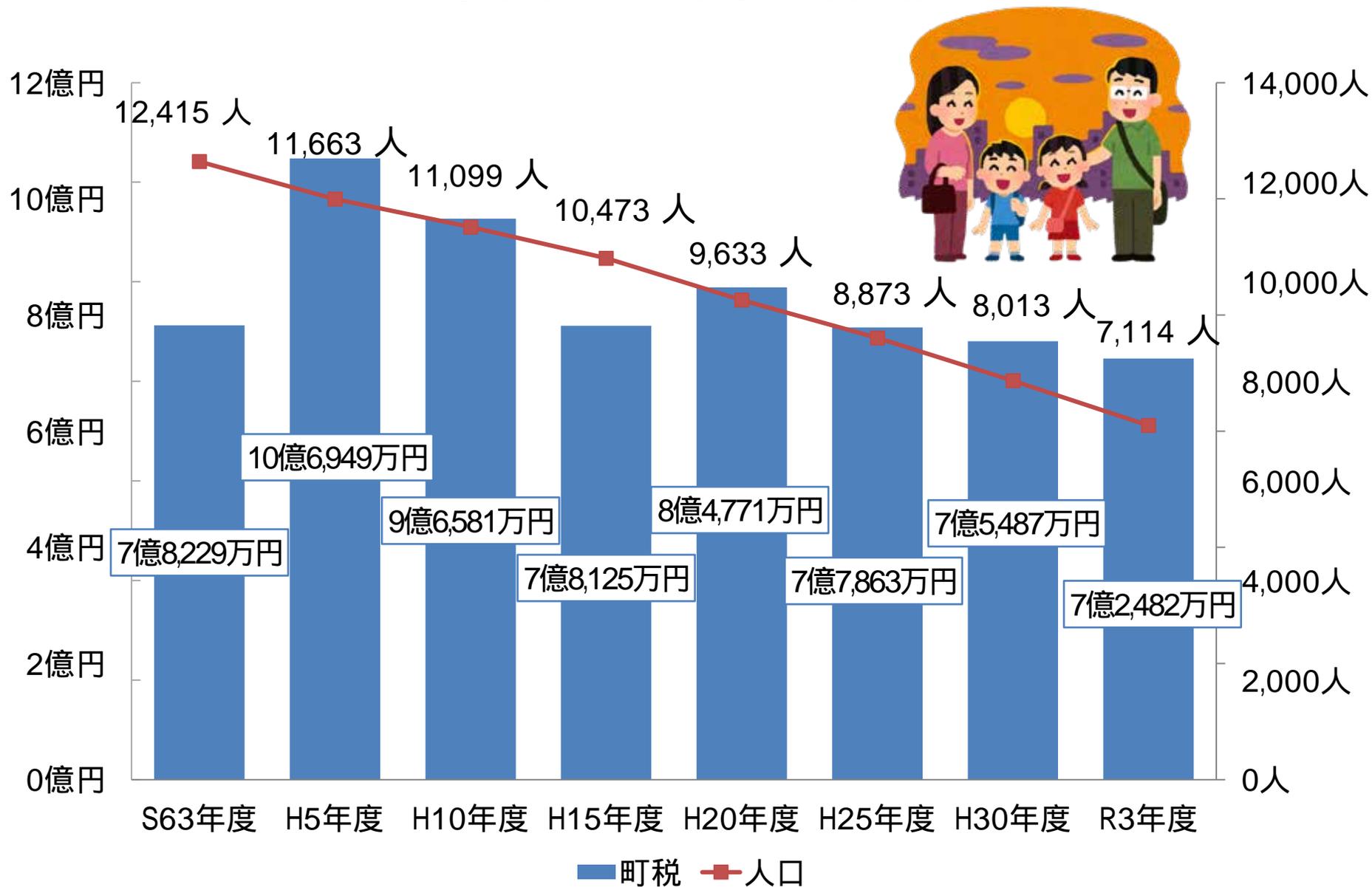
総額 7億2,482万円



地域社会の費用を分担するために課せられる税
(個人・法人)
・均等割
均等の額によって負担する
・所得割
所得金額に応じて負担する

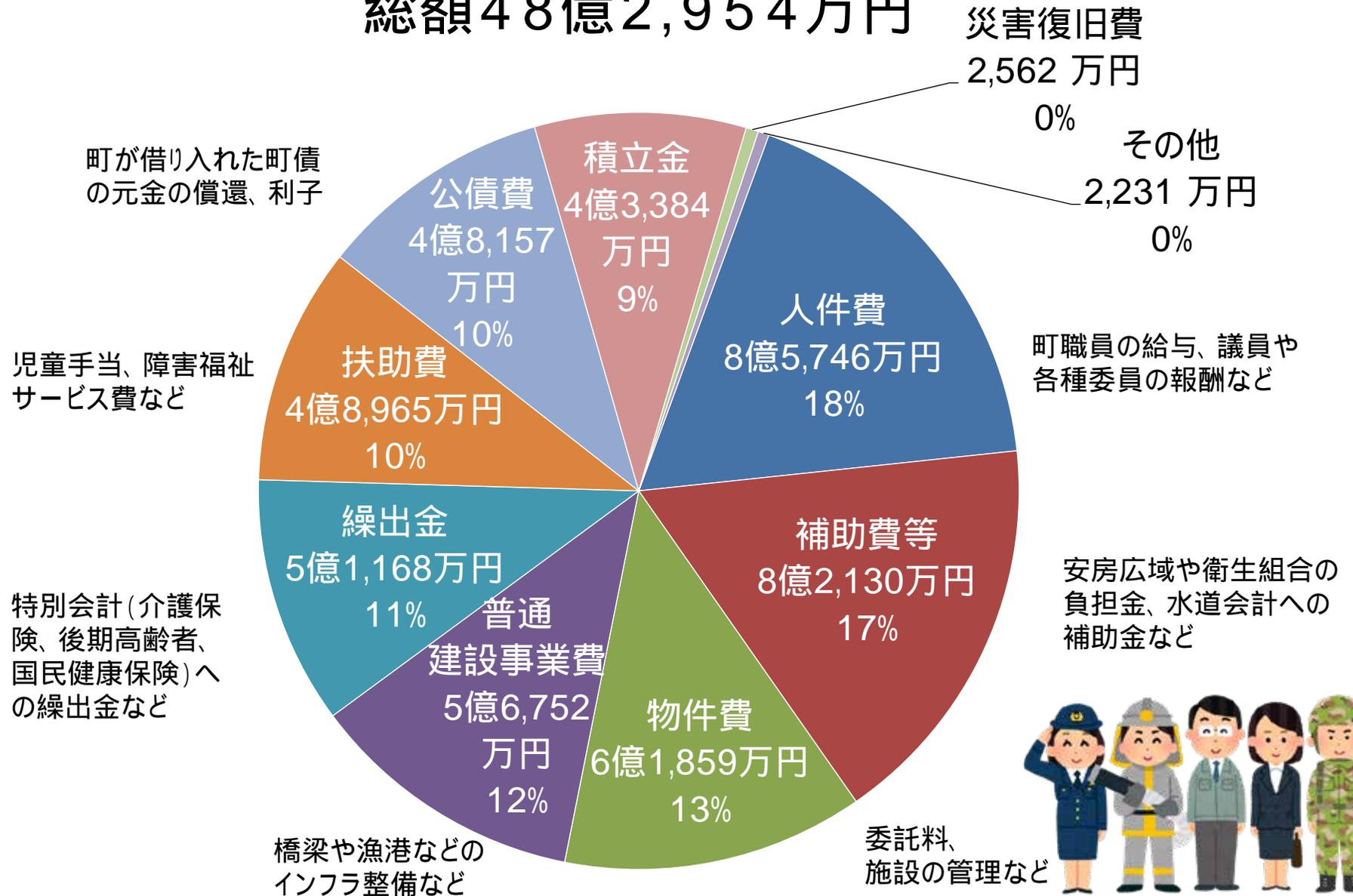
土地・家屋・償却資産などを所有されている方に課せられる税

町税と人口の推移

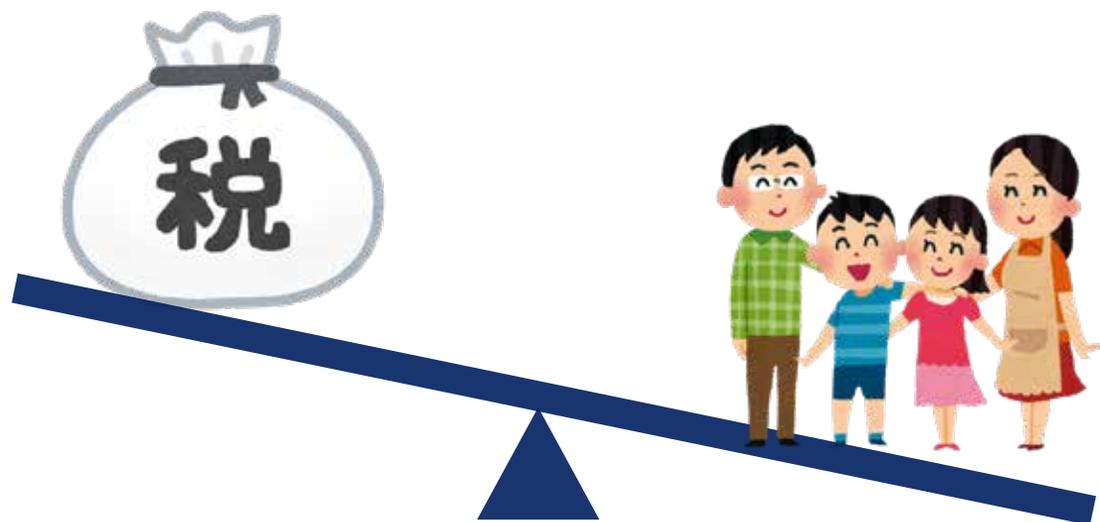


令和3年度一般会計決算 歳出

総額48億2,954万円



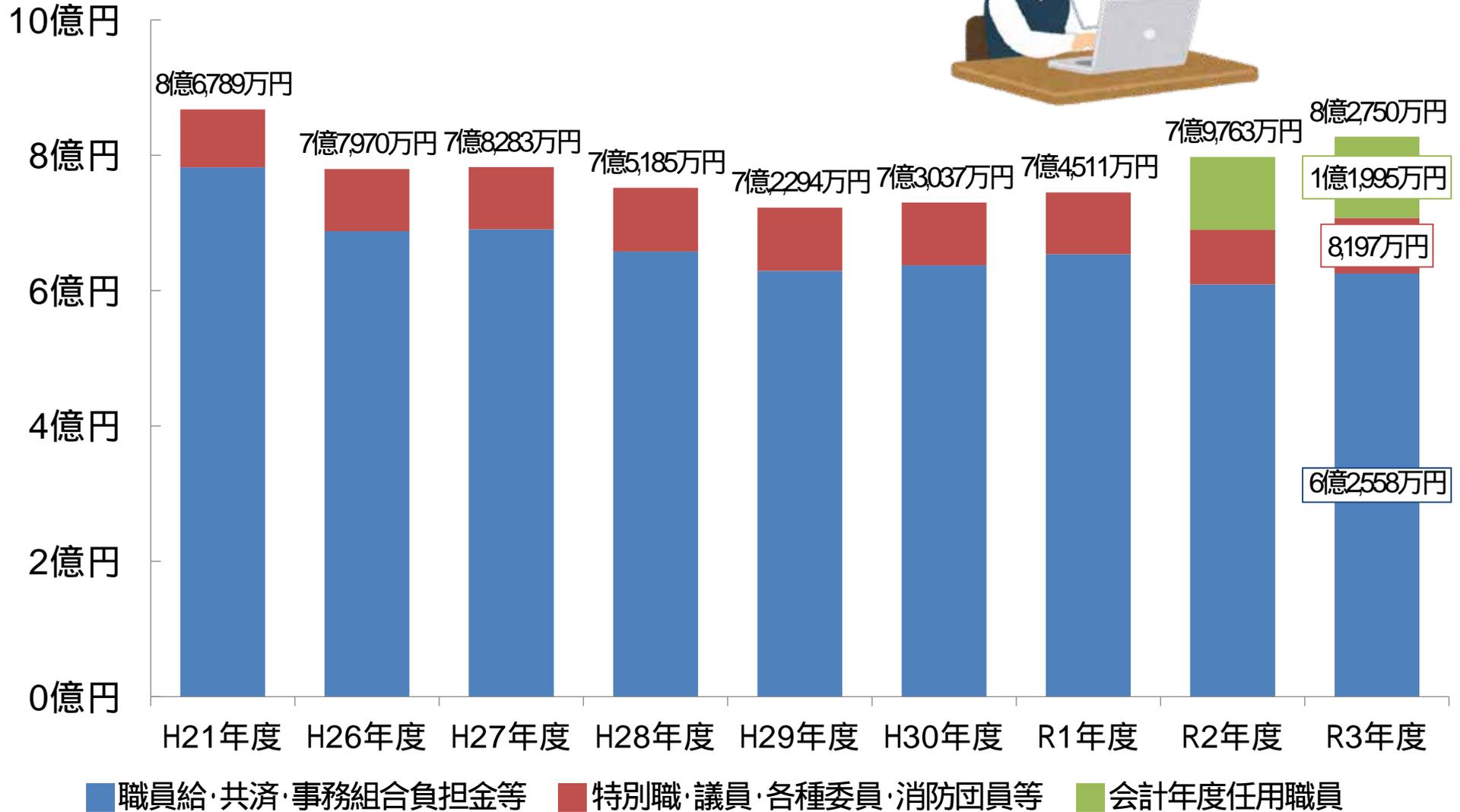
使われたお金と負担額



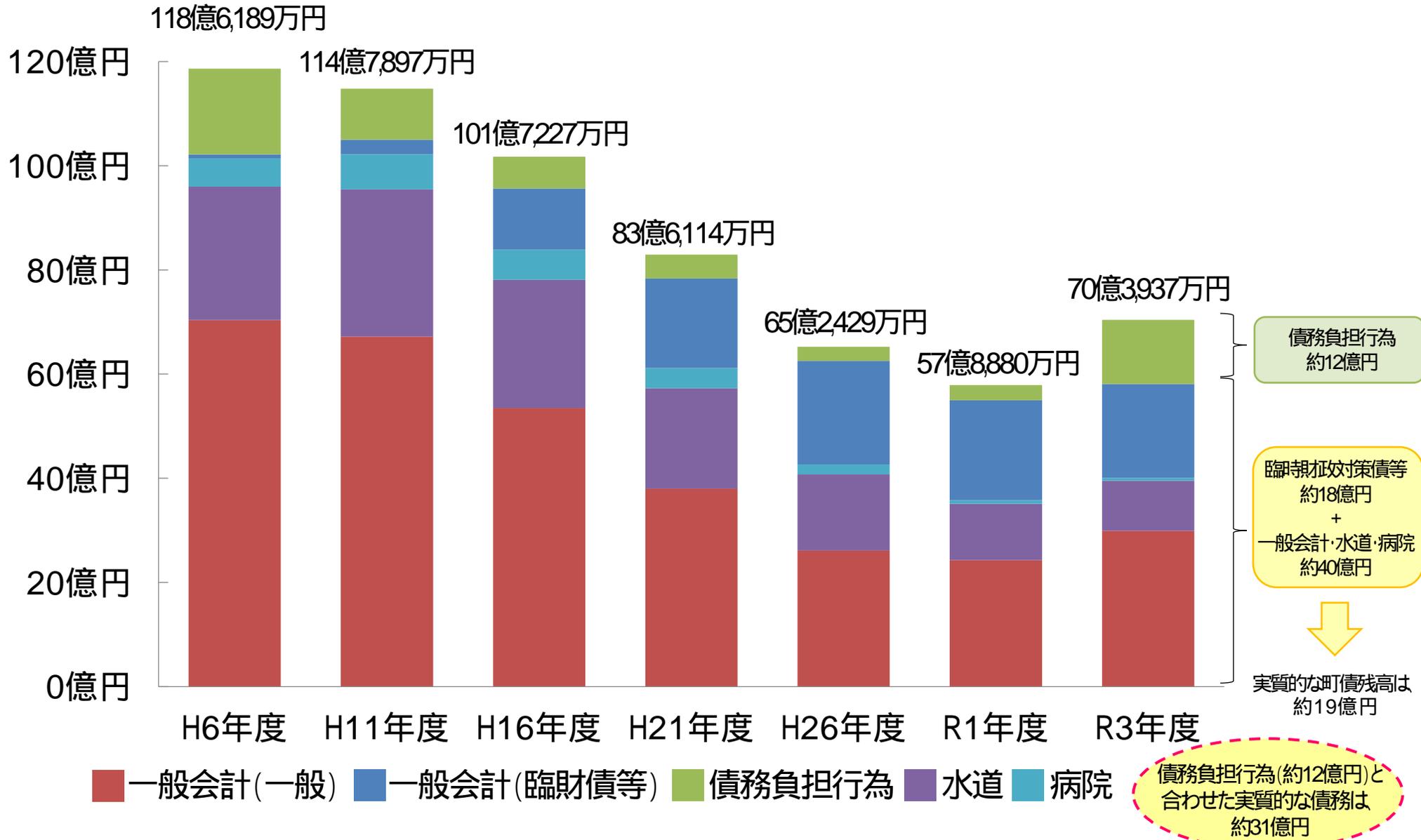
人口 7,114人
世帯数 3,485世帯
(令和4年3月31日現在)

	町税の負担額	使われたお金
1人あたり	101,886円	678,879円
1世帯あたり	207,982円	1,385,808円

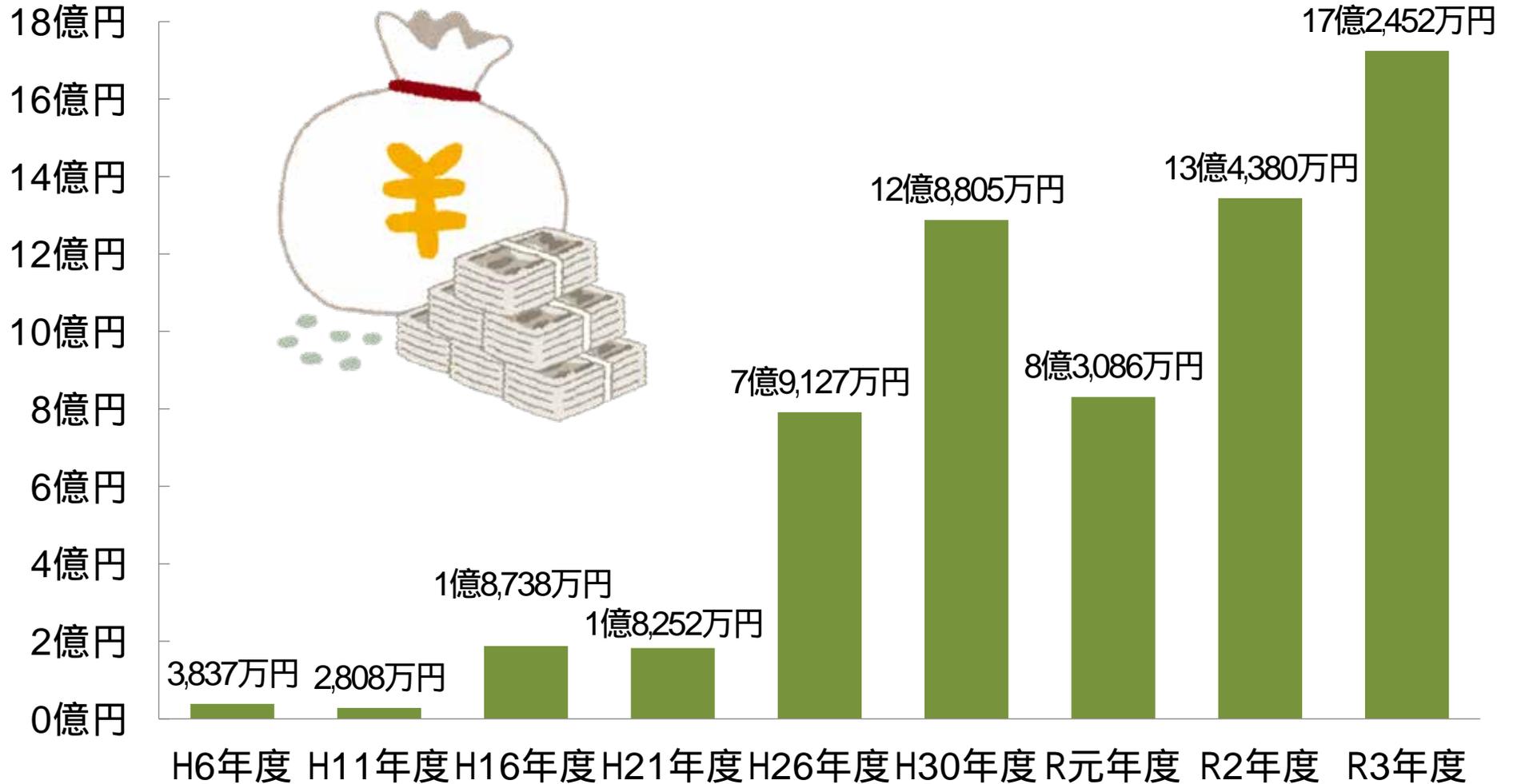
人件費の推移



債務残高の推移

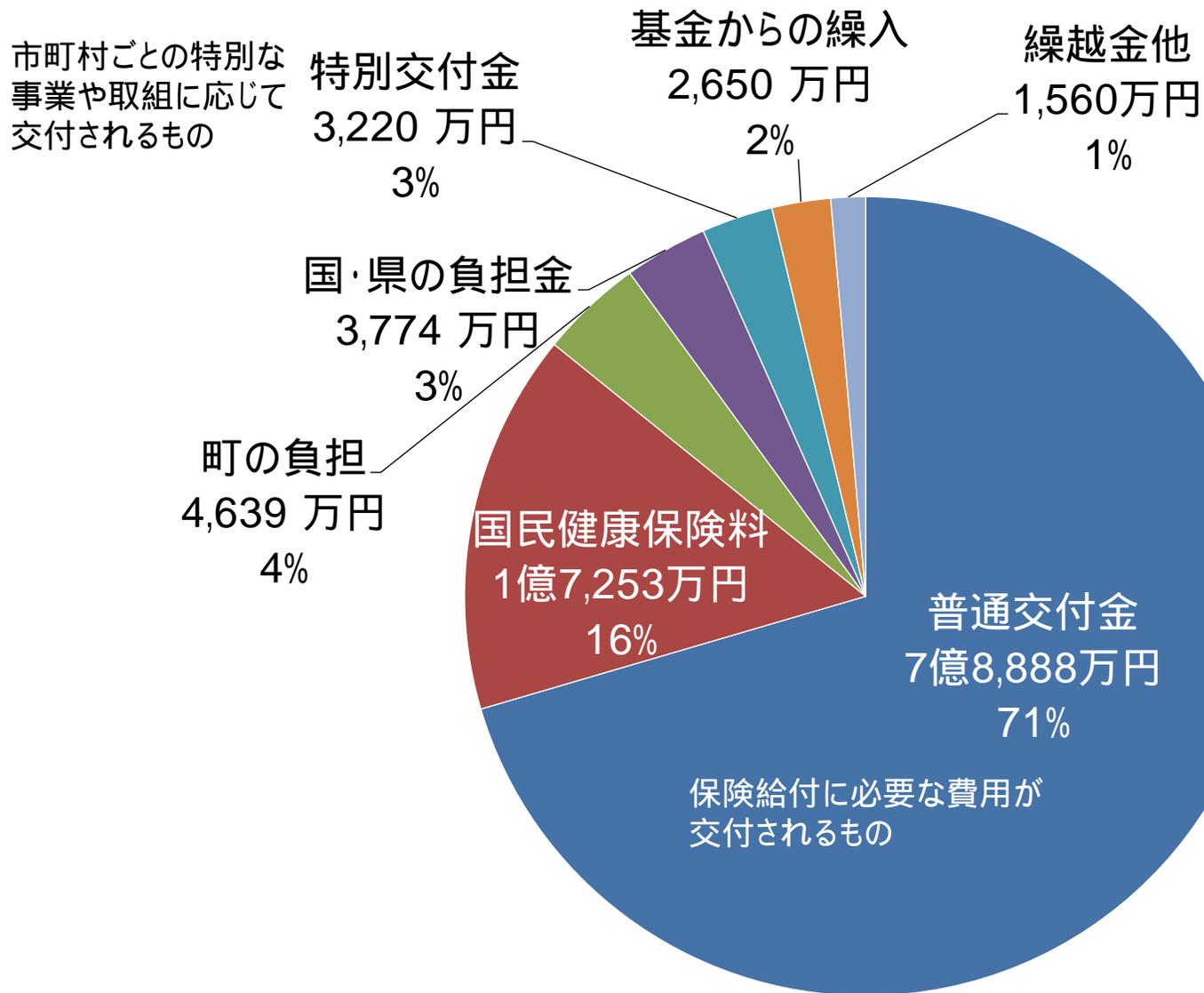


財政調整基金残高の推移



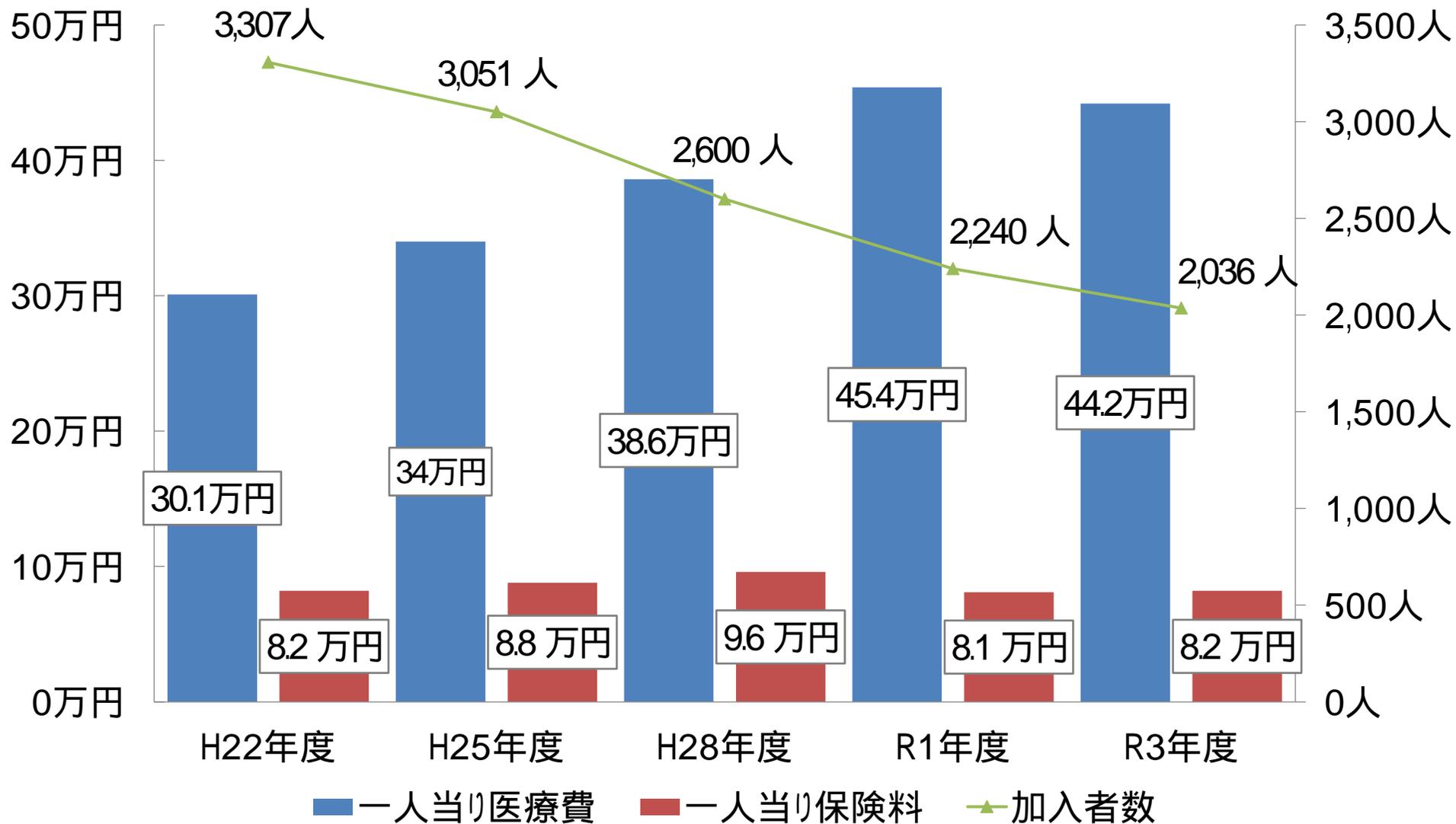
令和3年度国民健康保険特別会計決算 歳入

総額 11億1,984万円



加入者数: 2,036人
(令和4年3月31日現在)

国民健康保険料と医療費の推移



令和3年度介護保険特別会計決算 歳入

総額14億8,500万円

繰越金・諸収入他
333万円
0%

町の負担金
2億1,319千円
14%

県の負担金
2億3,194千円
16%

介護保険料(第1号)
2億7,049万円
18%

介護保険料(第2号)
[支払基金交付金]
3億7,240万円
25%

国の負担金
3億9,365万円
27%

第1号...65歳以上
第2号...40~64歳

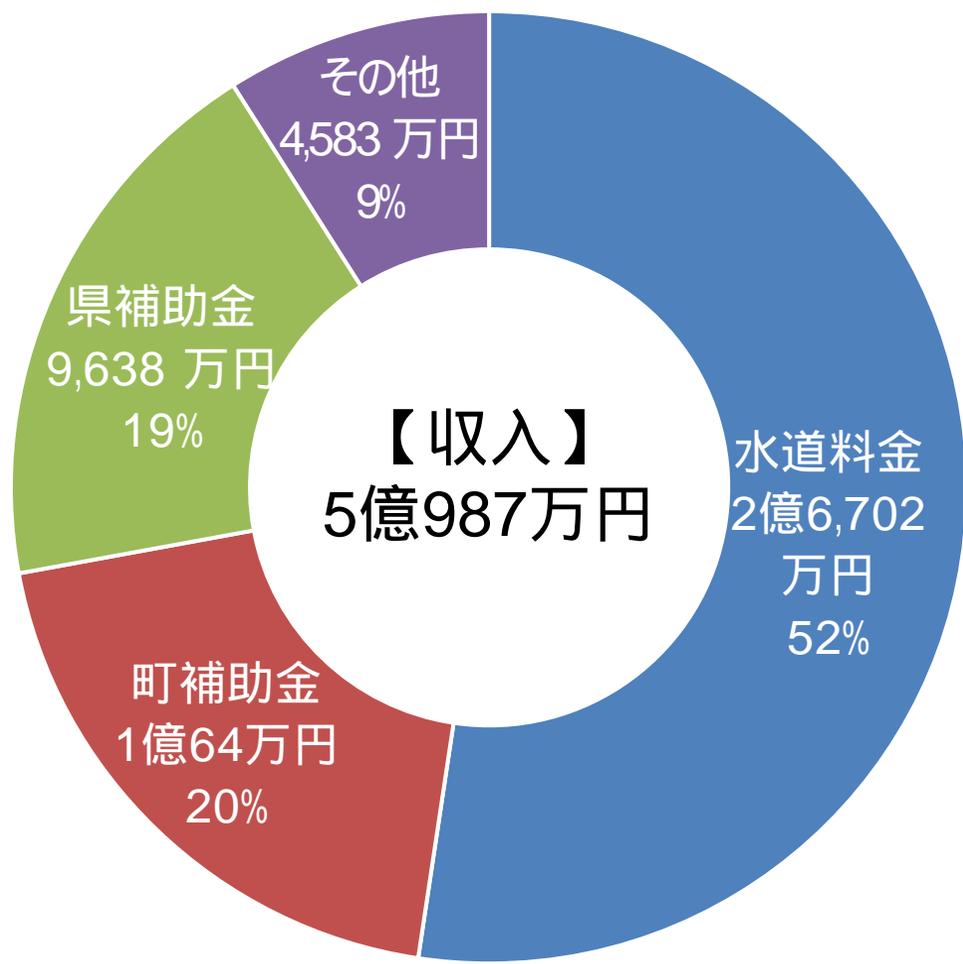
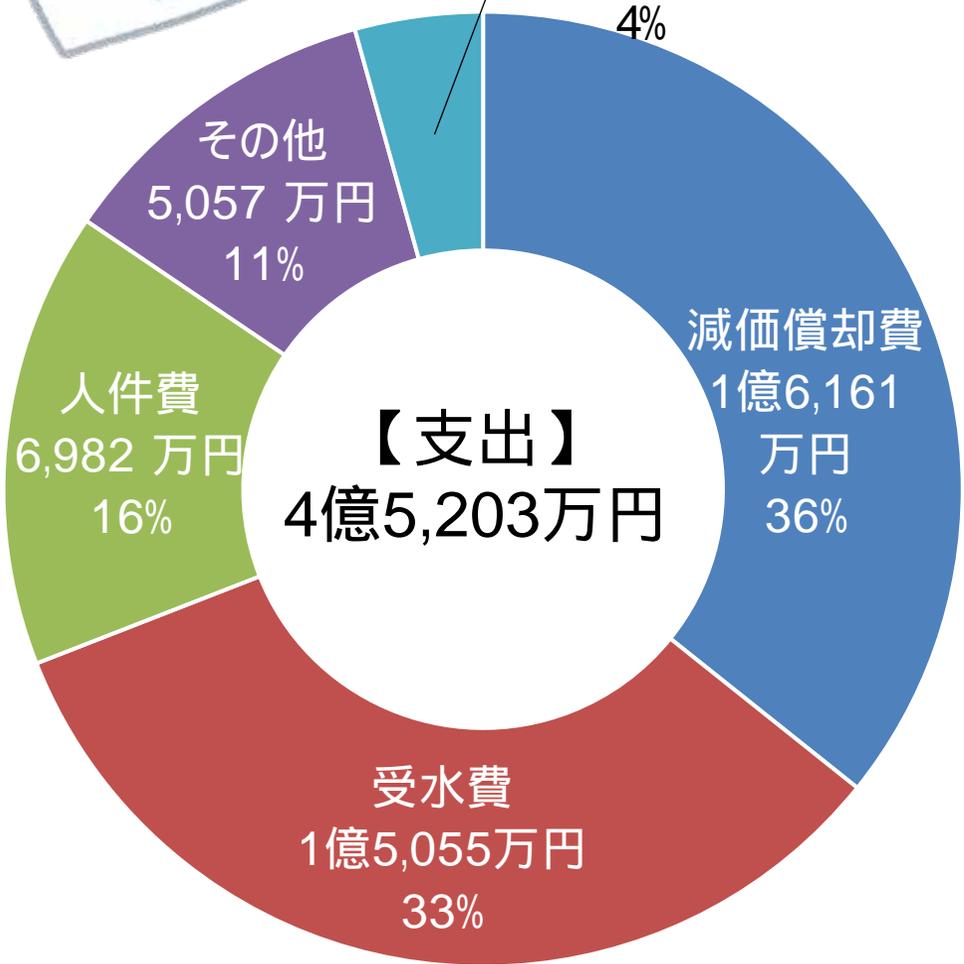
第1号被保険者数:3,525人
(令和4年3月31日現在)





令和3年度水道事業会計決算

支払利息 (収益的収支)
1,948 万円



給水原価 468.54円/m³

供給単価 285.86円/m³

人口減少対策 について

地域おこし協力隊

- 平成29年度から地域外から移住する若者の定住及び定着を図り、地域活性化に資するため「地域おこし協力隊」を設置。現在、2名の隊員が活動中
- 今年度は、「移住定住」、「農業振興」、「有害鳥獣対策」を1名ずつ募集

農業振興



堀越 美奈さん
令和2年11月委嘱

有害鳥獣対策



小池 貴久さん
令和3年12月委嘱

定住促進に向けた助成施策

新生活

移住支援金

東京23区内等から中小企業等へ就業する方やテレワークで移住前の業務を継続する方、社会的起業をする移住者を支援

- 交付額 世帯100万円
単身60万円



通勤・通学支援助成金

公共交通機関を利用して遠距離通勤・通学(蘇我駅以北)をする方を支援

- 助成額 年10万円

遠距離通勤の励みになりました



結婚新生活支援事業

婚姻に伴う住宅の購入費用やアパートの賃料、引越費用を支援

- 上限額 30万円

住宅関連補助制度

- 住宅リフォーム補助金
- 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金
- 合併浄化槽設置整備事業補助金
- 住宅取得奨励金

住宅関連補助制度

本年度から名称・補助内容が変更になります

住宅リフォーム補助金

- 町内の事業者を利用して住宅をリフォームする場合に費用の一部を補助
 - 補助率 工事費の10分の1
 - 補助上限額 20万円



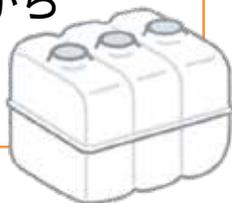
住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金

- 家庭における地球温暖化対策の推進・電力の強靱化を図る設備の設置に要する経費の一部を補助
 - 補助金額 エアーム5万円又は10万円
蓄電システム7万円
 - エアームは停電時自立運転機能ありの場合のみ10万円となります



合併浄化槽設置整備事業補助金

- 浄化槽の設置に要する経費の一部を助成
 - 補助金額 24万円
(汲取り式又は単独浄化槽からの更新は6万円を追加補助)



住宅取得奨励金

- 町内に居住している方や町内に定住する意思をもって新築住宅を取得する方に、奨励金を交付
 - 交付金額 20万円から100万円



空き家バンク

登録物件募集中！

登録・成約実績

年度	登録	成約
平成27年度	1	
平成28年度	3	1
平成29年度	2	1
平成30年度	4	2
令和元年度	9	5
令和2年度	9	10
令和3年度	6	6
合計	34	25



空いている物件を譲ったり、貸したりしてみませんか？

令和3年1月から
農地付き空き家の
取り扱いも開始し
ました



まちづくり支援事業補助金

令和3年度交付団体

	勝山磯根環境再生保全事業	桜染めで町おこし
事業目的	アイゴ(魚)による海藻の食害を防ぐため、イカが繁殖しやすい環境を整備し、磯根環境を再生する。	町の資源である桜などを活用した草木染めによる特産品を開発する。
活動内容	みさご島周辺など15か所にイカの産卵礁を投入。年々、アイゴも減少し、産卵礁への産卵も確認できた。	町内産の藍や頼朝桜から煮出した染料で染物体験教室を開催。ふるさと納税返礼品の提供も開始した。



補助金額：10万円以内（継続して3箇年度まで）

域学連携研究委託

「首都圏大学連携 鋸南プロジェクト」(日本女子大学、工学院大学)の大学生と大学教員が地域に入り、地域の課題解決や地域づくりに取り組み、地域の活性化に資する活動を行っています。

昨年度の活動



デジタルトランスフォーメーションの推進に向けて



 SoftBank

公共事業推進本部 担当課長

山下 献次郎 氏

内閣府「地方創生人材支援制度」の活用により、デジタル専門人材の派遣受入

ICT (情報通信技術) の浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること



DXアドバイザーを委嘱

- 任期 令和4年4月～令和5年3月(1年間)

庁内DX

行政業務効率化、省力化による職員負担の軽減

庁外DX

住民・事業者の負担軽減・利便性向上、観光や関係・交流人口の拡大

豊かなまちづくり寄付金(ふるさと納税)

町を応援してくださる方から寄付金を募り、その意思を具体化することで多様な人々の参加によるまちづくりに取り組んでいます。



寄付金の使途

保健・福祉・医療の推進

教育の充実

地域活性化・住環境整備

町におまかせ

(町が ~ の中から指定)

寄付実績

年度	件数	金額
平成30年度	851件	1,653万円
令和元年度	2,604件	5,547万円
令和2年度	1,862件	3,647万円
令和3年度	745件	1,524万円

ふるさと納税の返礼品



人気の返礼品4品(令和3年度)

返礼品提供事業者募集中!



子育て支援施策 について

教育施設の再編



		小学校 (18～25年度)	保育所 (20～21年度)	学童保育所 (27～28年度)	幼稚園 (28～30年度)	総計
総事業費		16億1千万円	1億7千万円	7千万円	3億8千万円	22億3千万円
財源内訳	国・県・都補助金	7億5千万円	1億2千万円	5千万円	5千万円	9億7千万円
	地方債	4億9千万円	0千万円	1千万円	3億2千万円	8億2千万円
	一般財源(基金含む)	3億7千万円	5千万円	1千万円	1千万円	4億4千万円

教育環境の充実



◀ 小中学校空調設備設置事業

小学校16教室・中学校11教室



▲ GIGAスクール

1人1台端末・高速大容量通信ネットワークの整備

◀ 給食費の無償化事業

保育所から中学生まで1人当たり84万円補助

放課後子ども教室

華道教室 ▶



▲ アニマルトラッキング



ウクレレ演奏 ▶





幼稚園の英語授業

英語教育



英語で遊ぼう(子育て広場)



手形をとろう

子育て広場



子ども服交換会

保育所駐車場用地取得事業



保育所等の駐車場用地の取得

- 面積 1,004.42 m²(2筆)
- 予算額 1,446万円

令和2年度 B & G海洋センター改修工事



【主な改修箇所】

- 外壁補修・塗装
- 屋根防水シート
- アリーナ照明LED化
- 正面玄関風除壁設置



事業費	5,640万円
内訳	助成金 3,000万円
	地方債 2,630万円
	一般財源 10万円

B & G財団

保健・医療・福祉 施策について

健康増進に向けた取組み



ボッチャ研修会



虫歯予防人形劇@幼稚園

健康づくり推進員協議会

町民の健康増進を図るため、健康づくりに向けた普及啓発活動



オミクロン株対応ワクチン接種の開始

使用するワクチン

従来株(武漢株)とオミクロン株の両方に対応した「2価」のワクチン(ファイザー社製またはモデルナ社製)です。

接種対象者

2回目接種が終了した12歳以上の全ての方

これまでの4回目接種対象者は、60歳以上の方や重症化リスクが高い方等に限定されていましたが、オミクロン株対応ワクチン接種では、その限定がなくなりました。

接種開始時期

令和4年10月上旬(予約は各医療機関で受付中)

接種間隔

前回接種から3か月以上

接種券

現在お持ちの接種券が使用できません。使用済みの方は、前回接種から一定間隔が経過した後に順次送付します。

今後、6ヶ月から4歳の乳幼児を対象とした接種(従来型ワクチン)も開始予定



接種状況(接種率)

1回目	94.00%
2回目	93.60%
3回目	84.87%
4回目	58.94%
5回目	0.01%

令和4年11月6日現在

鋸南町国民健康保険鋸南病院



県から自治医科大学卒業医師を受入

新しいICT撮影装置を導入

(令和4年1月)



やまもと ひろむ

山本大夢医師

期間:令和2～4年度



ひらやま えり

平山江梨医師

期間:令和4～5年度



看護奨学生募集

卒業後直ちに看護師として鋸南病院に入職した場合、一定期間の勤務を以って返済を免除

診療科

内科、外科、眼科(木曜日のみ)、
循環器科(第3土曜日のみ)、救急診療

入院病床

32床(急性期病棟)

介護予防の取組



健幸ポールウォーキング
4会場で開催中！



まちづくり施策 について

旧町立佐久間小学校・旧町立佐久間幼稚園



バーベキューハウス佐久間小学校

地方創生拠点整備交付金事業

バーベキューセットは用意済。懐かしい風景の中でバーベキューを楽しみませんか



事業費		4,194万円
内訳	国補助金	2,071万円
	地方債	1,860万円
	一般財源	263万円

- 利用料金
 - 小学生以上1人(3時間まで) 300円
 - 超過料金1人(1時間ごと) 100円
 - バーベキューセット(4人用) 2,000円
- 利用時間
 - 午前10時～午後3時00分
 - (土・日・祝)午前10時～午後5時00分
- 休館日
 - 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

老人福祉センター・笑楽の湯「貸切風呂」



頼朝公の湯

令和元年 4月
供用開始

利用料金(要予約)
1組1時間2,500円



見返り美人の湯

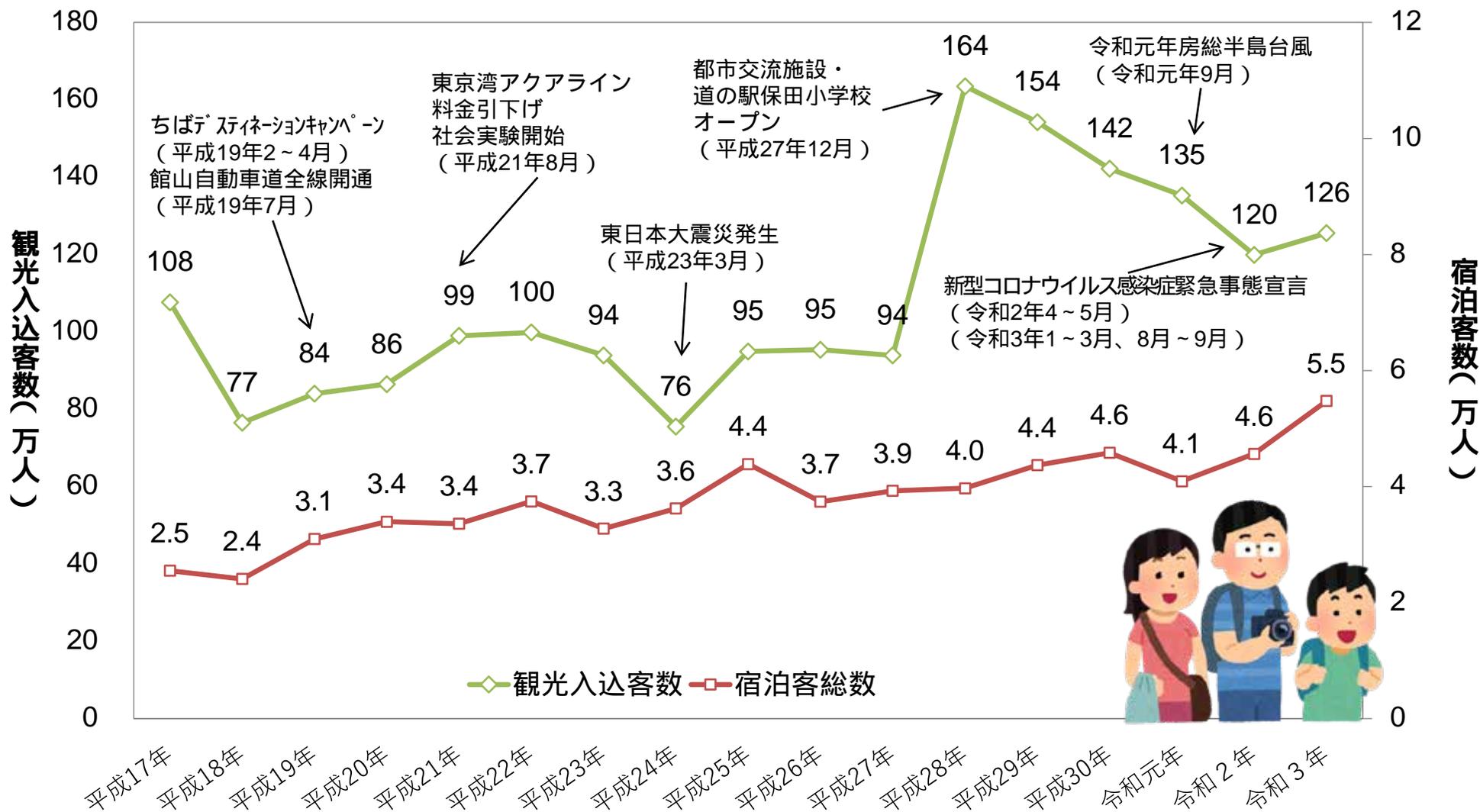


事業費		6,834万円
内訳	地方債	6,830万円
	一般財源	4万円

佐久間ダム公園



観光入込客数の推移



都市交流施設・道の駅保田小学校

平成26年3月に廃校となった**町立保田小学校**を小学校の雰囲気を残しつつリノベーションし、**平成27年12月に「都市交流施設」として開業**



「**小学校**」と名の付く**全国初の道の駅**



想定来場者数は、レジ通過者数の3倍

	想定来場者数	売上高(税抜)
平成27年度	32万人	2億1,183万円
平成28年度	89万人	5億6,834万円
平成29年度	85万人	5億5,495万円
平成30年度	87万人	5億7,686万円
令和元年度	63万人	4億2,248万円
令和2年度	56万人	4億1,790万円
令和3年度	67万人	5億2,053万円
合計	479万人	32億7,289万円

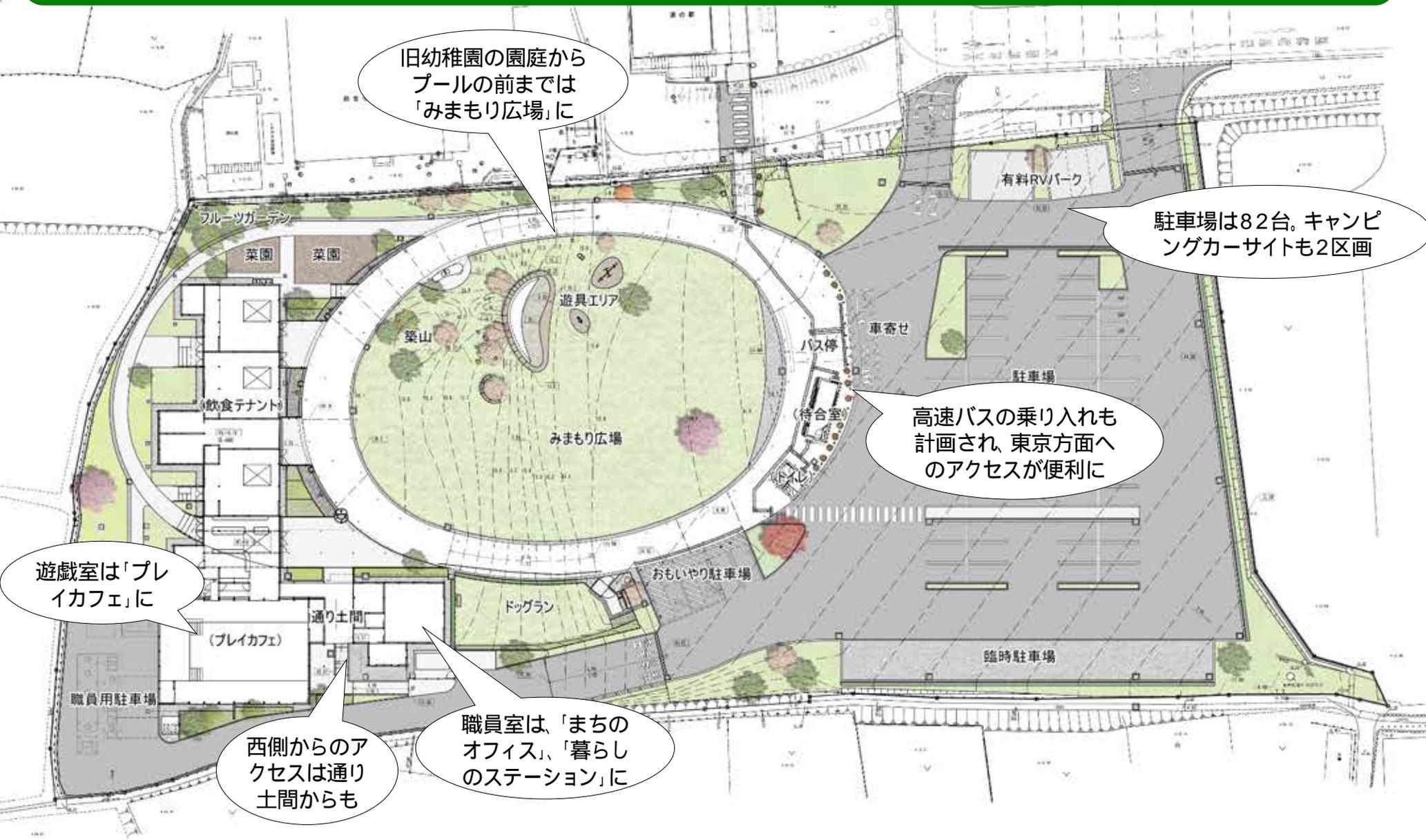
都市交流施設周辺整備事業



事業費		9億3,623万円
内訳	地方債	9億420万円
	その他	40万円
	一般財源	3,163万円

	現状	拡張	合計	
敷地面積	14,235.50㎡	9,427.50㎡	23,663.00㎡	
建築面積	2,660.14㎡	1,584.40㎡	4,244.54㎡	
延床面積	3,486.73㎡	906.40㎡	4,393.13㎡	
駐車場	普通車	127台	82台	209台
	大型車	5台	0台	5台
	合計	132台	82台	214台

都市交流施設周辺整備事業



旧幼稚園の園庭から
プールの前までは
「みまもり広場」に

駐車場は82台。キャンピ
ングカーサイトも2区画

高速バスの乗り入れも
計画され、東京方面へ
のアクセスが便利に

遊び室は「プレイ
カフェ」に

西側からのア
クセスは通り
土間からも

職員室は、「まちの
オフィス」、「暮らし
のステーション」に

敷地全体を大きく囲む 屋根付きの歩道「わっか」



「みまもり広場」中央の「すべり台」



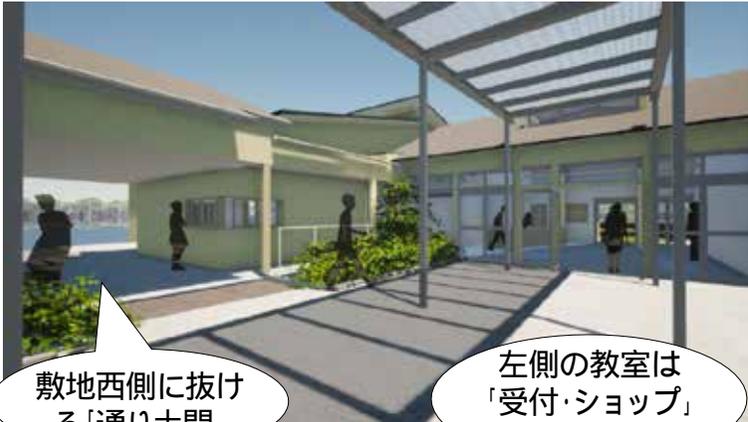
「待合所」



教室3区画は「テナントスペース」に



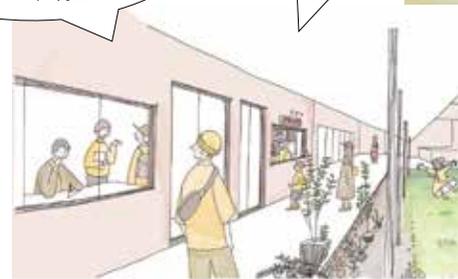
敷地西側に抜ける「通り土間」



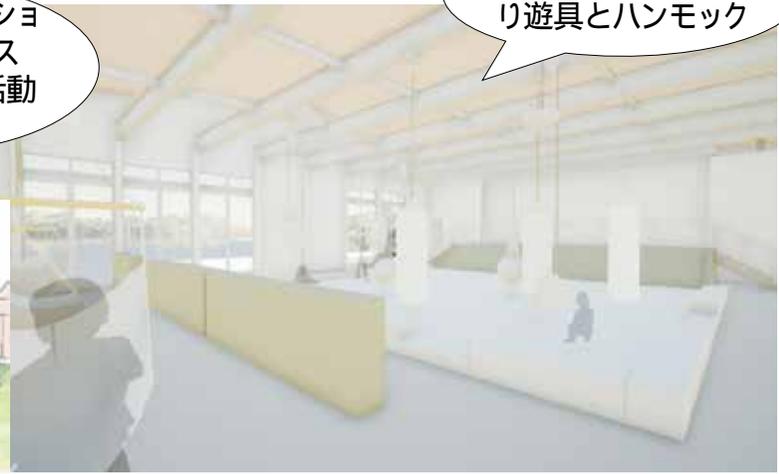
左側の教室は「受付・ショップ」に



「まちのオフィス」はコワーキングスペースに



「暮らしのステーション」は移住相談スペース、町民の活動拠点に



「プレイカフェ」の吊り遊具とハンモック

元名採石場跡地



元名字高塚(約0.28km²)
平成30年7月購入

sino R fine 篠原涼子
「Crazy for you」PV
櫻坂46「僕のジレンマ」PV



年度	使用料
平成30年度	240万円
令和元年度	570万円
令和2年度	420万円
令和3年度	790万円
合計	2,020万円

鋸山・日本遺産候補地域活用推進事業



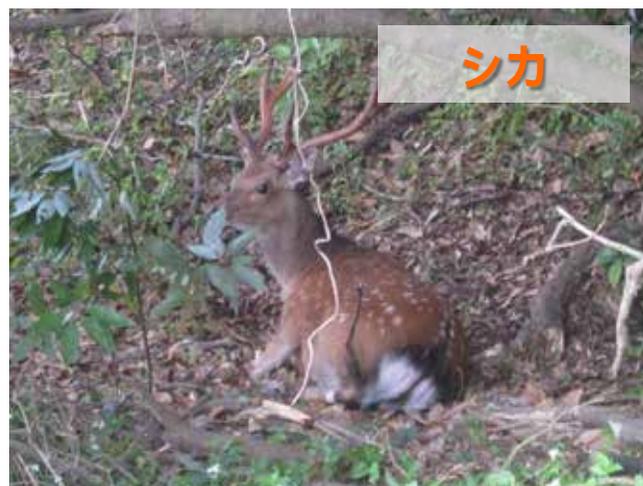
主な事業

- ・人材育成、課題解決ワークショップ
- ・有償ガイドの育成研修
- ・鋸山来訪者へのアンケート調査
- ・浮世絵版画摺り体験プログラム
- ・鋸山地形レーザー測量
- ・シンボルマーク、周遊案内ルート看板作成

産業振興施策 について

有害獣捕獲数の推移

	イノシシ	シカ	サル	キョン	ハクビシン	アライグマ	計
平成30年度	862	783	108	122	58	43	1,976
令和元年度	855	764	122	153	37	37	1,968
令和2年度	1,127	716	104	182	47	62	2,238
令和3年度	637	727	94	270	33	48	1,809
計	3,481	2,990	428	727	175	190	7,991



鳥獣被害対策実施隊



平成26年9月「鳥獣被害対策実施隊」を設置、銃器による一斉捕獲を実施

	活動日数	延べ参加人数	イノシシ	シカ	キョン
平成30年度	14	242	18	35	14
令和元年度	11	166	23	17	11
令和2年度	6	99	11	12	12
令和3年度	11	189	8	30	19
計	42	696	60	94	56

狩猟エコツアー



森林環境整備事業補助金



本年度スタート

国から譲与された「森林環境譲与税」を活用し、個人や地域組織等が自発的に行う森林整備作業を支援します。



里山環境
保全事業

- 雑草木の刈払い作業の経費を補助
- 10aあたり初年度は39,000円、2年目は10aあたり16,000円。



里山伐採
支援事業

- 伐採・間伐・枝打ち、枯損木の除去・搬出作業に対する経費を補助
- 1haあたり120,000円を上限(初年度限り)

地すべり米



道の駅保田小学校で
7名の農家が販売中

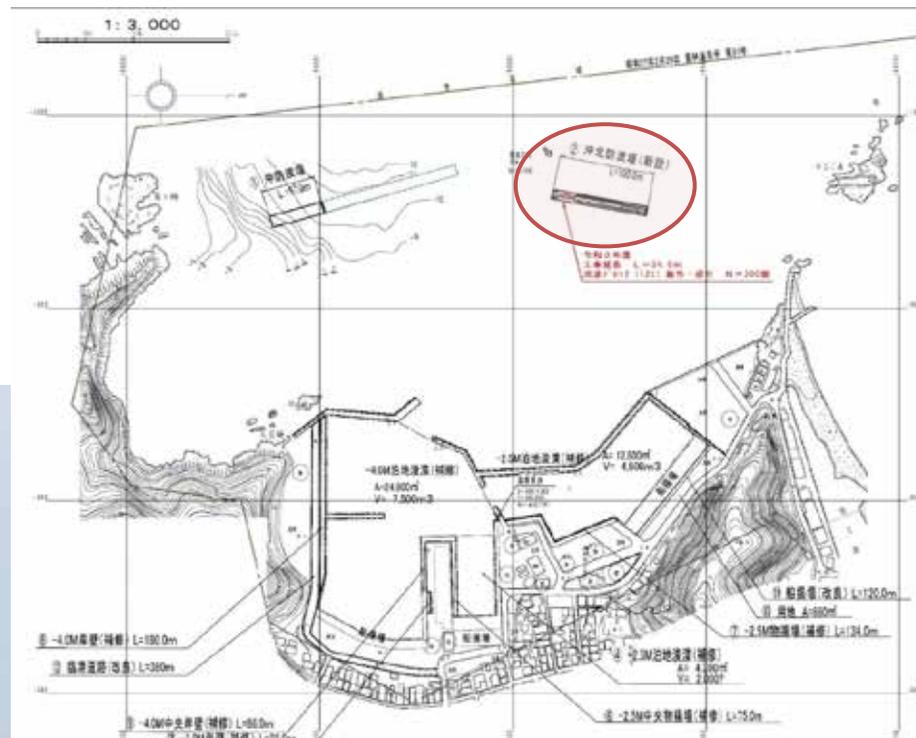


鋸南町に住所を有する農業者が地すべり防止区域内の
ほ場で生産したコシヒカリ、**粒すけ**及び糯(もち)品種

勝山漁港農山漁村地域整備交付金事業

沖北防波堤 (L=100m)

泊地の静穏度の確保、漁港の
利便性向上を図る



工事概要

- 平成24年度着工
- 令和3年度までにL=85.5m施工済
- 令和4年度完成予定

保田漁港水産物供給基盤機能保全事業



改修前



改修後



令和3年度 吉浜南防波堤機能保全工事

きよなんまち地域商品券

昨年度に引き続き、町民全員に町内で使用できる1万円分の商品券を配布

使用期間は、12月31日まで！

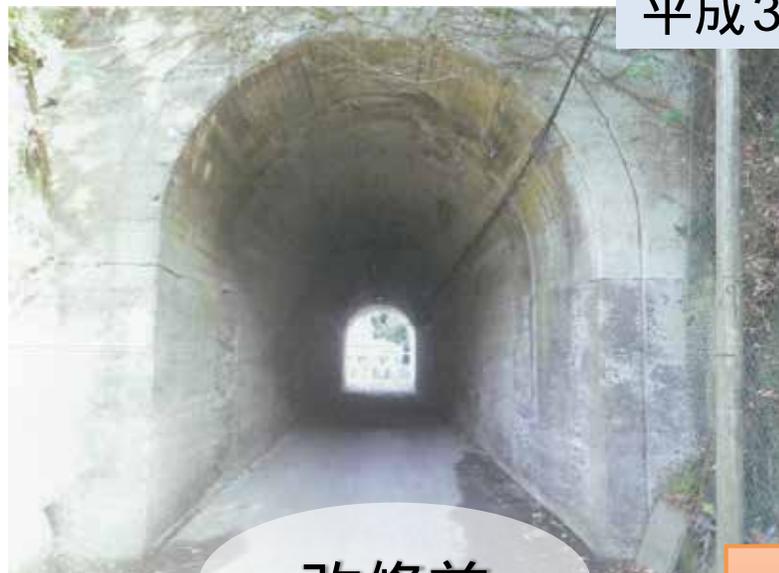
配布年度	配布総額	1人あたり
令和2年度	7,356万円	5千円分×2回
令和3年度	7,185万円	1万円分
令和4年度	7,200万円	1万円分
総額	2億1,741万円	3万円分



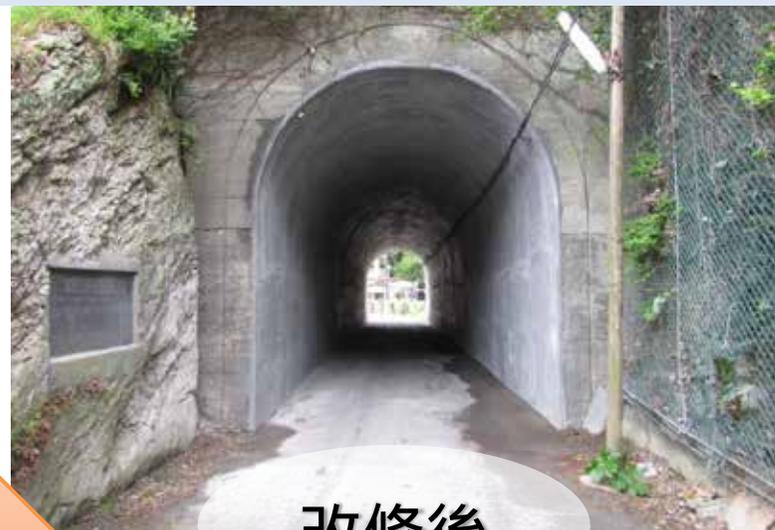
生活環境・ 防災施策について

トンネル・橋梁の老朽化対策

平成30年度トンネル補修工事(内宿・内宿トンネル)



改修前



改修後



令和2年度橋梁補修工事(大帷子上・荒田橋)

水道施設更新事業

第二配水池耐震補強工事



勝山系基幹管路(権現橋・大沢橋水管橋)改修工事



大帷子上地区(房ヶ谷地先)配水管布設替工事



突発漏水事故(職員直営修理)



市町村水道統合事業



水道水の安定的な供給に向けて、水道事業体の経営健全化、技術の確保・継承、施設の整備・更新といった課題の解決を図るため、二系統の統合事業に取り組んでいます。

(統合目標年度 令和7年4月)

用水供給統合事業

飲料水として受水している南房総広域水道企業団と九十九里地域水道企業団、県営水道の統合



受水している南房総広域水道企業団(大多喜町)

末端給水統合事業

水道事業を行っている安房地域内の市町村水道(鋸南町、南房総市、鴨川市、三芳水道企業団)の統合



鋸南町浄水場

市町村水道統合事業



用水供給統合事業

末端給水統合事業



広域廃棄物処理事業及び中継施設建設事業

第2期君津地域広域廃棄物処理事業

可燃ごみを君津・安房地域の6市1町で共同処理します。

- 施設建設 令和5年9月～
- 操業開始 令和9年4月(予定)
- 事業場所 富津市新富地先
- 事業費 約826億円(建設費及びごみ処理事業費)
- 町負担額 約10億1,500万円
(令和9～28年度の処理量による)

ごみ処理中継施設建設事業

可燃ごみを一時仮置きする中継施設を南房総市と共同で建設を予定しています。

- 施設建設 令和7年4月～
- 操業開始 令和9年4月(予定)
- 建設候補地 南房総市検儀谷地先

施設イメージ



ごみ処理は共同処理することで、環境の改善や事業費の削減が図られ、皆さんの負担軽減となります
現在の収集や持ち込み等の取扱いに変更はありません

し尿処理センター整備事業

し尿や浄化槽汚泥は、鋸南地区環境衛生組合で処理をしていますが、今後の施設更新等を考慮し、南房総市と新しい処理施設の整備を進めています。

- 事業スケジュール
 - 各種計画・調査
 - 平成30年度～令和2年度
 - 整備事業者選定
 - 令和2年度
 - 施設設計・建設工事
 - 令和3年度～令和5年度
 - 操業開始
 - 令和6年4月(予定)
- 事業場所 南房総市御庄地先
(旧三芳村)
- 事業費 約28億2,200万円
- 町負担額 約3億6,000万円

施設イメージ



令和元年房総半島台風の被害と復興



住宅の被害：町全体の約7割が被災

住宅の被害	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
被害件数	28	56	338	1,808	2,230

住宅の復興支援

住宅の応急修理(災害救助法)

被災住宅修繕緊急支援事業補助金)

住宅の被害	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
支援件数	2	16	191	986	1,195

住宅の解体

公費解体、自費償還

住宅の被害	全壊	大規模半壊	半壊	合計
完了件数	10	26	114	150

令和元年房総半島台風災害からの復旧・復興



岩井袋地区

発災直後とその1年後



被災者生活再建支援金の支給状況

生活基盤に著しい被害を受けた世帯に37万5千円から最大300万円を支給し、生活の再建支援を支援しています。

区分	基礎支援金	加算支援金	
全壊世帯	28件	建設・購入	7件
		補修	5件
		賃貸	9件
解体世帯	134件	建設・購入	66件
		補修	15件
		賃貸	14件
大規模半壊世帯	26件	建設・購入	0件
		補修	18件
		賃貸	7件



令和4年5月末現在で141世帯の方に3億4,075万円を支給しました。

令和元年房総半島台風前後の人の動き

	平成31年4月		令和4年4月		減少数(率)	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
勝山地区	3,835	1,728	3,478	1,634	357人 (9.3%)	94世帯 (5.4%)
保田地区	3,122	1,516	2,870	1,461	252人 (8.1%)	55世帯 (3.6%)
佐久間地区	864	417	766	390	98人 (11.3%)	27世帯 (6.5%)
合計	7,821	3,661	7,114	3,485	707人 (9.0%)	176世帯 (4.8%)



岩井袋地区の世帯数は、
平成31年4月の119世帯
から令和4年4月は92世帯
と22.7%の減少

令和2年8月19日撮影



安全・安心のための災害時の情報能力向上



防災行政無線デジタル化 (令和3年度で完了)

防災行政無線をアナログからデジタル化して混信を防止し、**より聞き取りやすく**改修しました。

- 町内希望全戸にデジタル受信機配布(2,660台)
- 受信機アンテナ設置(208件)
(事業費 1億4,119万円(3か年度))

防災無線親卓更新 (令和4年度)

皆さんに情報を**より早く、確実に**
お届けするため
情報を**同時に**、
複数手段(防災無線:音声情報)
(メール等:文字情報)
で放送・伝達します。



新親卓

同時に一斉
配信可能

従来:音声情報



屋外放送



戸別受信機

新規:文字情報



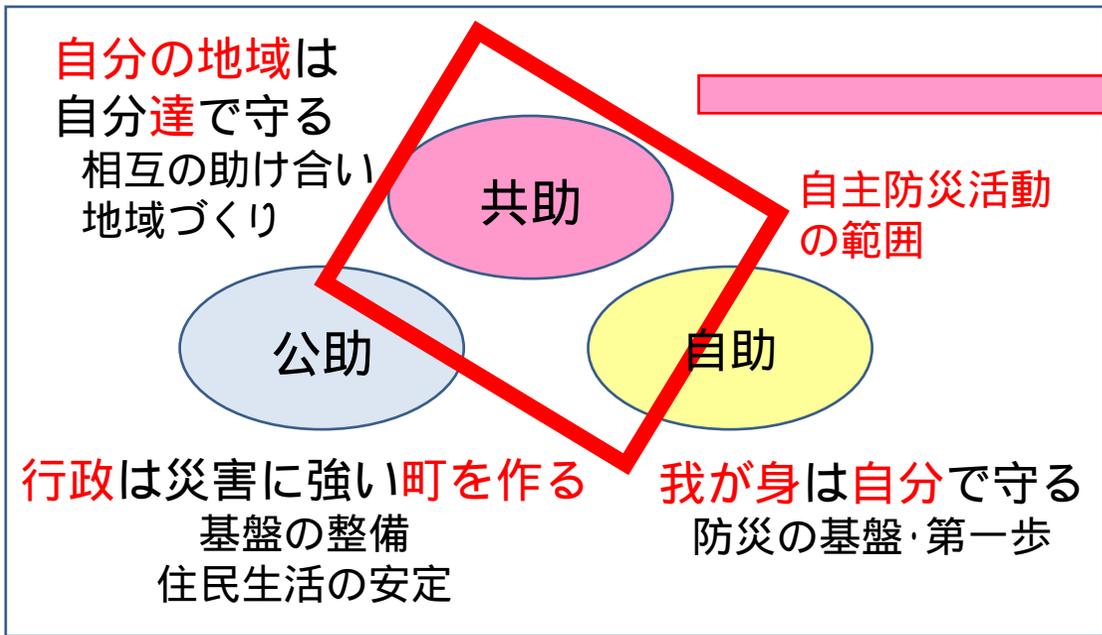
携帯
メール



SNS

令和5年4月ごろ運用開始予定

自主防災組織の拡充



自主防災組織(主要な役割)

- 防災意識の高揚(自助の促進)
- 初期救助・消火
- 避難支援・弱者救護
- 避難所運営
- 地域の防災環境の整備(助成・連携)

防災活動は三位一体

区分・機能が異なるのですべてが機能して効果を発揮



防災訓練:避難所運営



避難誘導・支援



町内危険箇所点検

消防団活動



試運転(第一分団)



消防団員募集中!

団員数 148人(令和4年4月1日現在)
(令和4年度新入団員4人)

中継訓練



	団員数
本部	4人
女性団員	14人
第1分団	40人
第2分団	33人
第3分団	24人
第4分団	33人

B & G財団「防災拠点の設置および災害時総合支援体制構築事業」

防災倉庫



迅速な災害支援活動が実施できるよう、防災倉庫、発電機、チェーンソーなどの機材を整備。
油圧ショベル、ダンプ、救助艇は財団から現物支給。

事業費		3,708万円	
内訳	支援金	3,500万円	B & G財団
	一般財源	208万円	

ホイールローダー



油圧ショベル(現物支給)



ダンプ(現物支給)



総合防災訓練

避難訓練(海洋センター)



展示訓練(自衛隊・安房消防)



避難所開設訓練(施設点検)



11月6日(日)開催
ご参加ありがとうございました。